

「男女共働時代の外科における equity（公平性）に関するアンケート」について

研究の概要

消化器外科医の不足が深刻化する中、性別に関わらず誰もが能力を発揮し、長期的に働き続けられる職場環境の整備は喫緊の課題です。消化器外科医不足の解決策として、女性外科医の増加が必要不可欠であります。男女の公平性が担保されているかは所属施設や個人が経験するライフイベントによって差が生まれるのではないかと考えており、今現在の医局員の状況や考えを把握することは、今後の対策に重要であると考えております。

研究の目的

広島大学消化器移植外科学に所属し、広島臨床腫瘍外科研究グループ（HiSCO）関連基幹病院 11 施設で従事する 130 人に対して男女の公平性に関するアンケートを行う。

本研究への参加について

本研究への参加は任意であり、参加を希望されない場合は研究責任者または研究担当者に直接お伝えいただくようお願いいたします。

調査する内容

広島大学消化器移植外科学に所属し、広島臨床腫瘍外科研究グループ（HiSCO）関連基幹病院 11 施設で従事する方に対して、アンケートを用いて調査します。

また、収集されたデータの解析結果は論文や学会発表などで公表されます。

対象となる人への利益・不利益

ご協力いただいたデータは匿名化され、統計的に処理されます。個人が特定されることはありません。研究終了後は個人情報を取り除いた上で廃棄いたします。本研究以外の目的に使用されることもありません。また、研究への参加・不参加によって勤務評価等に影響を与えることは一切ありません。

研究期間

研究実施許可日：2025 年 10 月 6 日～ 2026 年 12 月 31 日

アンケート取得期間：2025 年 9 月 3 日～2025 年 9 月 8 日

学会発表

2026 年 4 月 第 126 回日本外科学会定期学術集会 発表予定

研究責任者

国立病院機構東広島医療センター

消化器外科 医師 山口恵美

問い合わせ先

国立病院機構東広島医療センター

〒739-0041 東広島市西条町寺家 513 電話： 082-423-2176（代表）

国立病院機構東広島医療センター 消化器外科 医師 山口恵美